

甲府一高新聞

11月号

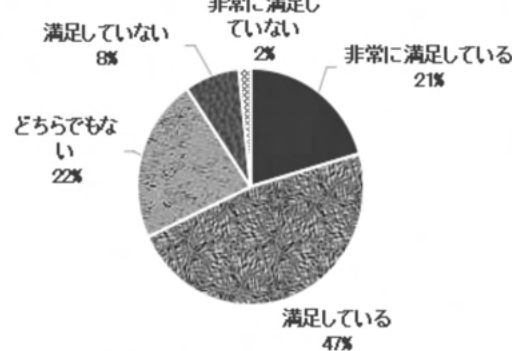
発行所
甲府一高新聞部
甲府市美咲二丁目13-44

満足度アンケート実施

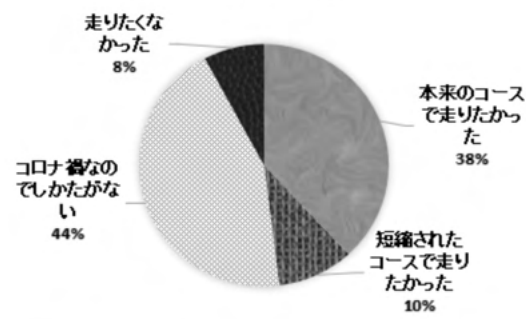
新型コロナウイルスの影響により中止となった強行遠足。一高の代表的な伝統行事である強行遠足について生徒自身はどのような意識を持っているのか、また一高生は普段の学校生活に対してどれくらい満足しているのか、どのようなことを感じているのか、これらの点について明らかにしたいと思い今号の新聞では全校生徒にアンケート調査を実施し、取材を行った。

強行遠足「走りがかった」5割弱

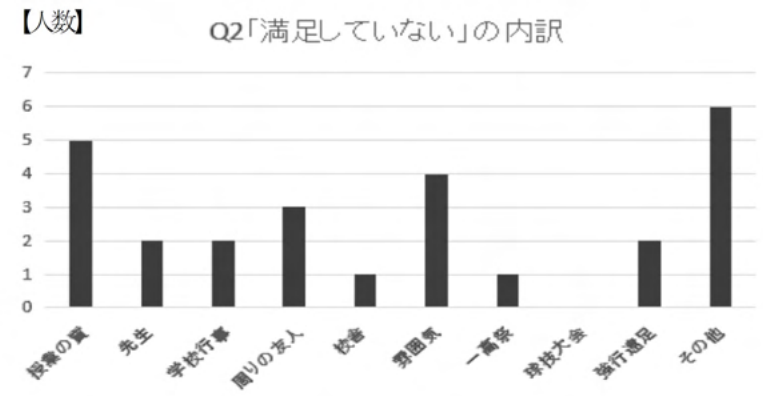
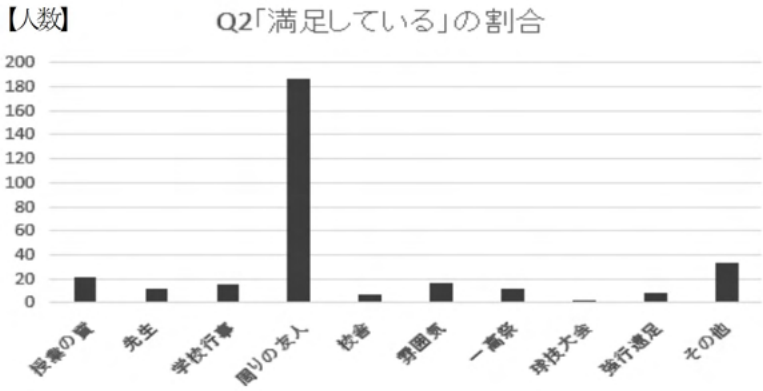
Q1.あなたは今の学校生活にどのくらい満足していますか



Q3.今回中止になった強行遠足についてどう感じているか



Q2. Q1の原因を一つ



【Q1. あなたは今の学校生活にどのくらい満足していますか。】
 【Q2. Q1の満足度となった理由は何ですか。】
 【Q3. 今回中止になった強行遠足についてどう感じているか。】

【Q1. あなたは今の学校生活にどのくらい満足していますか。】
 【Q2. Q1の満足度となった理由は何ですか。】
 【Q3. 今回中止になった強行遠足についてどう感じているか。】

新人戦・芸文祭開幕

秋といえば、新人戦・芸文祭の季節だ。三年生が引退し、代替わりをした新しいチームで、新人戦・芸文祭に臨む部員に意気込みを語ってもらった。

【ソフトテニス】
 男子：目標を達成するだけでなく、さらにその上を目指す。目標は、団体で関東大会出場、個人ベスト8。女子：積み重ねてきた一球一球を大切に。目標は、団体ベスト8、個人ベスト16。

【ハンドボール】
 男子：練習では走り込みを増やして体力をつけることや、フットワークを軽くして、速いパス回しをする。目標は、ベスト4。女子：明るく楽しく元気よく、心を一つに一戦集中をモットーに戦う。目標は、二勝すること。

【バドミントン】
 男子：感謝・挨拶・一球入魂を忘れずに最後まで諦めない。目標は、団体ベスト4、個人ベスト8。女子：限られた練習時間だったが、二年生だけの団体戦は初めてなので、特に力を入れて戦う。目標は団体ベスト4、個人ベスト8。

【テニス】
 男子：今までの弱点を試合では克服する。目標は、団体で関東大会出場。女子：最後までボールを追いかけて、一つでも多くの勝利を掴めるように一丸となって戦う。ダブルス、曾根・穴水組3位。

【卓球】
 二年生は一人だが、一年生四人と共に、試合を大切にして自分たちの力を出し切る。目標は、まず一勝すること。

【山岳】
 自然を感じながら一歩一歩踏みしめて登る。目標は、けがをせず安全に登ること。

【剣道】
 練習では体力づくりや少人数での技の高め合いを意識した。目標は、個人で三回戦進出。

【柔道】
 城西・西、身延高校との合同チームだが、臆することなく自分の力を出し切る。目標は、団体戦で一勝すること。

【弓道】
 練習では自分の弱点や的の向き合ってきた。結果は女子団体Aチームが優勝し、全国選抜大会への出場決定。

【アーチェリー】
 唯一の選手として、練習では点数を意識せずテンポよく打った。目標は、自己最高の530点を超える550点以上を出すこと。



【完成に向け筆を動かす美術部】

【空手】
 練習では、型は技術面を意識し、組手では対人形式で試合を意識している。渡邊左京くん(1年)・高野英莉さん(2年)・個人組手3位。

【陸上】
 新人大会が行われ、駒井元貴くん(2年)が5000m走で関東大会出場が決定した。

【写真】
 目標は十一人全員が関東大会に出場。山本沙枝さん(2年)が総文祭出場を決めた。

【弦楽】
 聞いている人が明るい気分になり、ノリノリで楽しめるような演奏をする。

【アカペラ】
 人数の少なさを感ぜさせないよう、一人一人が自分の力を出し切って歌う。

【演劇】
 少人数だが、見ている人に何かを届けられるような演劇をする。

【ダンス】
 初めての芸文祭で緊張するが、自分たちの力を信じてダイナミックに踊る。

【放送】
 聞いている人が感心するような放送ができるように、今持っている力を出し切る。

【茶道】
 コロナ禍であり練習ができなかったが、普段の練習と同じように気を配りながら茶会を楽しむ。

【美術】
 十三年連続で総文祭に出場している。自分たちでその記録を絶やさないように見事な作品を作り上げる。

【書道】
 文字の細かい部分まで気を抜かず、今までの練習の成果が発揮されるような書道をする。

【吹奏楽】
 厳しい状況が続いているが、芸文祭と総文祭の両方への出場を目指して、自分たちの音を観客に届ける。

【箏曲】
 全員が初出場だが、失敗を恐れずに今出せる最大限の力を発揮する。

【将棋】
 憧れの先輩と戦えるので、恩を返すつもりで全力で挑む。

【文学】
 今まで積み上げてきたものを作品に込めた。芸文祭で得たものをこれからの作品作りに生かす。

【自然科学】
 費やしてきた時間が無駄にならないように大会に臨む。

【家庭】
 委員長として一高を背負っていくので、他校生に気後れしないように絶対に勝つ。

【ユネスコ】
 コロナにより動画での出場となったが、練習期間は伸びたので、その分を一生懸命頑張りたい。文章を書く以外のことも学ぶことができたので、次に生かしたい。

【コロナ禍での実施であり、オンラインでの審査や参加人数の制限があるように思い通りにいかない状況が続いている。その中でも、今ある力を出し切ろうとすべての部活が工夫やアイデアを凝らして活動している。短期間での練習であったがそれらの成果が発揮される新人戦、芸文祭での活躍が楽しみである。